

# 日本種苗新聞

第157回品種見本市

## 生鮮から生活拠点へ

### 「浜松 やらまいか」 市場の在り方問い直す

青果育種研究会(岩澤均会長)が2月27日、浜松市中央卸売市場で開いた第157回品種見本市は「10年後の浜松やらまいか(やってみようじゃいか) 遠州方言)市場」をテーマに掲げた。

会場には生産者など多く、農業は高齢化、労働力が不足、市場はネット販売などで取扱量が減少している。しかし、浜松市と湖西市を管内とするJAとびあ浜松は営農指導・販売を強化し、農家の所得30%アップに取り組んでいる。

また、ミニゲンサイを栽培する京丸園は障がい者を弱者として雇用するのではなく、障害に合わせた作業形態を取り入れることで、正規の労働力として雇用している。浜中は塩素を使わない殺菌法を開発し、カット野菜工場「浜松ベジタブル」を立ち上げ、経営の多様化を図っている。

こうした「やらまいか」



多くの参加者が詰めかけた品種見本市

出展が多かった品目はトマト。丸種はとにかく甘いミニ「甘っこ」、朝日工業は黄化葉萎病耐病性ミニ「AMS200」、トキタ種苗はキュートなタのタネはTYLCSV耐病性の「麗妃」と、多彩な品種が並んだ。JAとびあ浜松の売上高の上位はネギ、チンゲンサイ、タマネギ。ネギは武蔵野種苗園が全国で大人気の逸品「若殿」、横浜種木は収量性抜群の「龍翔」、サカタのタネは夏蒔系新品種「SK2038」、リーキは丸種が春先出荷可能な「ロングトン」、タマネギは田採種場がお好み焼き専用の「ふゆおこ」、タキイ種苗が加工・業務用に最適な「夢ごころ」、キュウリは朝日工業がおいしさを実感できる「クラッサ2号」を紹介。

健康を考えると今後伸びそうなケールはトキタ種苗がフリルの葉が特長の「カリノケール」、増田採種場が初心者でも食べやすい新発売の「ソフトケール」をPR。アサヒ農園はとげなし単為結果ナス「ラクロー」を集めたにアピール。大和農園は食用ホオズキ「ギャンディーランタン」を出品。浜松市は観賞用ホオズキの産地だが、地元の高校農業者の生徒が育てた食用ホオズキの苗を販売するなど、食用への関心も高まっている。

イチゴ型の「トマトベリ」は待望のTYミニ「TY千果」、パイオニアエコサイエンズはからみつく旨みの「シリアンルージュ」、ナント種苗は基本性能で勝負する「風林火山」、カネコ種苗は群馬県育成の「甘しずく」、みかど協和は早生で食味のいい「TYみぞら86」、サカ「TYみぞら86」、サカが春先出荷可能な「ロングトン」、タマネギは

病性の「麗妃」と、多彩な品種が並んだ。JAとびあ浜松の売上高の上位はネギ、チンゲンサイ、タマネギ。ネギは武蔵野種苗園が全国で大人気の逸品「若殿」、横浜種木は収量性抜群の「龍翔」、サカタのタネは夏蒔系新品種「SK2038」、リーキは丸種が春先出荷可能な「ロングトン」、タマネギは

田採種場がお好み焼き専用の「ふゆおこ」、タキイ種苗が加工・業務用に最適な「夢ごころ」、キュウリは朝日工業がおいしさを実感できる「クラッサ2号」を紹介。

健康を考えると今後伸びそうなケールはトキタ種苗がフリルの葉が特長の「カリノケール」、増田採種場が初心者でも食べやすい新発売の「ソフトケール」をPR。アサヒ農園はとげなし単為結果ナス「ラクロー」を集めたにアピール。大和農園は食用ホオズキ「ギャンディーランタン」を出品。浜松市は観賞用ホオズキの産地だが、地元の高校農業者の生徒が育てた食用ホオズキの苗を販売するなど、食用への関心も高まっている。

田採種場がお好み焼き専用の「ふゆおこ」、タキイ種苗が加工・業務用に最適な「夢ごころ」、キュウリは朝日工業がおいしさを実感できる「クラッサ2号」を紹介。

健康を考えると今後伸びそうなケールはトキタ種苗がフリルの葉が特長の「カリノケール」、増田採種場が初心者でも食べやすい新発売の「ソフトケール」をPR。アサヒ農園はとげなし単為結果ナス「ラクロー」を集めたにアピール。大和農園は食用ホオズキ「ギャンディーランタン」を出品。浜松市は観賞用ホオズキの産地だが、地元の高校農業者の生徒が育てた食用ホオズキの苗を販売するなど、食用への関心も高まっている。

田採種場がお好み焼き専用の「ふゆおこ」、タキイ種苗が加工・業務用に最適な「夢ごころ」、キュウリは朝日工業がおいしさを実感できる「クラッサ2号」を紹介。

健康を考えると今後伸びそうなケールはトキタ種苗がフリルの葉が特長の「カリノケール」、増田採種場が初心者でも食べやすい新発売の「ソフトケール」をPR。アサヒ農園はとげなし単為結果ナス「ラクロー」を集めたにアピール。大和農園は食用ホオズキ「ギャンディーランタン」を出品。浜松市は観賞用ホオズキの産地だが、地元の高校農業者の生徒が育てた食用ホオズキの苗を販売するなど、食用への関心も高まっている。

田採種場がお好み焼き専用の「ふゆおこ」、タキイ種苗が加工・業務用に最適な「夢ごころ」、キュウリは朝日工業がおいしさを実感できる「クラッサ2号」を紹介。

健康を考えると今後伸びそうなケールはトキタ種苗がフリルの葉が特長の「カリノケール」、増田採種場が初心者でも食べやすい新発売の「ソフトケール」をPR。アサヒ農園はとげなし単為結果ナス「ラクロー」を集めたにアピール。大和農園は食用ホオズキ「ギャンディーランタン」を出品。浜松市は観賞用ホオズキの産地だが、地元の高校農業者の生徒が育てた食用ホオズキの苗を販売するなど、食用への関心も高まっている。